

司法支援建築会議運営委員会議事録

(2010年度第4回)

(記録：事務局)

A. 日 時：2011年1月20日(月)14時～16時

B. 場 所：日本建築学会会議室

C. 出席者：委員長 小野徹郎

委 員 有馬 賢、柿崎正義、神田 孜 鈴木計夫、鈴木秀三、瀬尾和大、
仙田 満、田中淳夫、松原忠策、松本光平、山口昭一、山本康弘

(敬称略)

D. 提出資料

- 資料No.4-1 前回(11月5日)議事録案
- 資料No.4-2 司法支援建築会議設立10周年記念連載記事(第1回活動報告)
- 資料No.4-3 最高裁若手の会(第5回)検討事項
- 資料No.4-4 東京地方裁判所「建築関係訴訟検討会」の開催について
- 資料No.4-5 第11回講演会「建築紛争の現状と課題」に配布したアンケートの集計結果
- 資料No.4-6 第3回建築紛争フォーラム企画案
- 資料No.4-7 「建築雑誌」記念連載構成案(再修正)
- 資料No.4-8 司法支援建築会議2010年度事業報告・決算見込み、2011年度事業計画・予算案
- 資料No.4-9 司法支援建築会議運営規程の一部改正案(支部組織の設置)
- 資料No.4-10 司法支援建築会議会員候補者申込書(1名)

E. 確認事項

1. 前回議事録(案)について

事務局から前回議事録案(11月5日)の確認がなされ承認された。

F. 報告事項

1. 司法支援建築会議設立10周年記念連載(第1回活動報告)

小野委員長から、司法支援建築会議設立10周年記念連載記事の第1回活動報告が会誌1月号に掲載されたとの報告がなされた。

2. 最高裁「若手の会」(第5回)検討事項

小野委員長から、1月19日に開催された若手の会の検討事項(司法支援建築会議の活動、専門家の広域活用、建築に関して社会的知見や専門的知見を獲得する方策、今後の若手の会のあり方)について説明がなされた。

(意見)

- ・支援建築会議の活動に関して、「建築紛争ハンドブック」は2003年に出版されたがその後の新たな知見を入れた改訂が必要ではないか。
- ・調停委員に対する支援や地方の会議会員の勉強会も必要である。

3. 東京地方裁判所「建築関係訴訟検討会」の開催

事務局より、東京地裁河野総括判事より、昨年、一昨年と司法支援建築会議との関係を中心に開催していた「建築関係訴訟検討会」は、本年度は弁護士会との関係を中心に「調停運営等」のテーマで開催するとの連絡があったとの報告がなされた。

4. 部会報告

(1) 普及・交流部会

- 1) 第11回講演会「建築紛争の現状と課題」時に配布したアンケートの集計結果
柿崎部会長から、表記アンケートの集計結果について、今後の希望する講演会テーマ、

司法支援建築会議の取り組み等について報告がなされた。

2) 第3回建築紛争フォーラム「戸建住宅を巡る建築紛争—紛争解決に向けて、さらに予防へ」企画

柿崎部会長から、建築紛争フォーラムの企画案について、過去2回は大会開催地域の司法支援建築会議会員にフォーラムの企画・実行をお願いしていたが、本年度は大会が関東で開催されるので、普及・交流部会を中心に企画・実施すること、また企画案の趣旨や具体的なプログラムの説明がなされた。

(意見)

- ・4-4「CMの立場」は戸建住宅を対象にするなら少し違和感がある。
- 不動産業の方が戸建住宅の紛争にどのような意識を持っているかの視点で話してもらう。
- ・デベロッパーとなるとまちづくりが入るのでそのような分野の方を入れてはどうか。
- ・CMというよりもPMではないか。
- ・パネリストが多すぎないか。4-4は全体の講演時間のこともあるので削除してはどうか。再度部会で検討してもらいたい。「設計」「施工」「監理」の3本立てとしてはいかがか。
- ・戸建住宅の紛争がこれからどうなるかの学術的分析をしてもらいたい。

G. 審議事項

1. 「建築雑誌」記念連載構成案(再修正)

小野委員長より、当会議設立10周年の記念連載記事の会誌掲載にあたり、新たな特別寄稿や頁数の増加により、連載記事の各月に掲載する構成を一部変更したとの説明がなされ、検討の結果承認された。

2. 司法支援建築会議2010年度事業報告・決算見込み、2011年度事業計画・予算案

事務局から、2010年度事業報告・決算見込み、2011年度事業計画・予算案の説明がなされ、2011年度の予算額を20万円増額して総額120万円予算要求することにした。

3. 支部組織設置に伴う司法支援建築会議運営規程の一部改正案

小野運営委員長より、前回委員会（11月5日）で議論した支部組織設置の構想をもとに具体的に規程とした条文の説明がなされた。

(意見)

- ・医療では全国に10庁専門部が設置されている。建築は4庁であり専門部に対応した司法支援建築会議の支部設置が望まれる。

検討の結果、理事会に運営規程改正案をはかることを承認した。

4. 司法支援建築会議登録会員候補者申し込み

事務局から、玉水新吾氏の会議会員の申し込みについて説明がなされ、検討の結果申し込みを承認し理事会には諮ることにした（2月理事会）。

5. 今後の検討課題

小野委員長から建築紛争に学会の基・規準のどの部分が紛争に関わってくるかを調べてみて、基・規準の書き方の問題点を作成委員会に報告してはどうかとの提案が出された。

H. 次回開催

- ・日時：2011年4月20日（水）14時～16時
- ・場所：建築学会会議室

以上